

Ⅱ-3 子どもの規範意識ってどうやって育てるの？

【エピソード】

小学校4年生の息子は、カードゲームに夢中。学校から帰ってきて暇さえあれば友達とカードを持ち寄って遊んでいます。

ある日、息子がカードを散らかしたまま遊びに出かけてしまい、見るに見かねて片付けることにしました。その数の多さに驚かされながらもよく見ると、買った覚えのないものがあることに気がきました。息子とは、友達とのトラブル回避のためカードをあげたりもらったりしない約束をしていたはずなのに……。

帰ってきて、話を聞いてみると、やはり、友達同士でカードをあげたりもらったりしていました。息子は、いけないことだとわかっていながらも、仲良しの友達が数多くこのようなやりとりをしているのを見ているうちに、我慢できず約束を破ってしまったようです。また、友達の中には、子ども同士で売買したりしている子もいて、トラブルが起きていることもわかりました。

子どもに対してどのように話をしたらよいのでしょうか。

ワーク1

- あなたがこの息子の保護者なら、この後、息子にどのような話をしますか？

グループの中で「保護者役」と「息子役」に分かれてロールプレイ(役割演技)してみましょう。



息子役の方のせりふの例

- ・どうしても友達のカードがほしかったがよ！
- ・友達に「交換しようや」と言われて断り切れなかったが！
- ・友達みんながやりゆうき、ついやってしまうた。
- ・友達みんながやりゆうき、自分もやらんと仲間はずれになると思うたが。

ワーク2

- このエピソードと似たような経験を語り合ってみましょう。(お子さんのエピソードでも、あなた自身が子どもの頃のエピソードでもどちらでもかまいません。)

	あなたのお子さんのエピソード	あなた自身が子どもの頃のエピソード
話す内容	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような出来事？ ・保護者としてどのように対応した？ ・保護者として考えさせられたことは？ <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような出来事？ ・あなたの保護者の対応で心に残っていることは？ ・あなたが考えたことは？ <p style="text-align: right;">など</p>

ワーク3

●家で約束やルールをつくる時に気を付けていることはどのようなことですか？

また、お子さんがその約束やルールを大切に思い、守っていけるようにするためにどのようなことをしていますか？

あなた

【つくる時】

【大切に思い、守っていけるように…】

グループ

資料1

ルールって だれのためにあるんだろう

子どもたちは、家庭でのルールや約束を守ったり破ったりしながら、人との関係の在り方や社会のルールの大切さを学んでいきます。

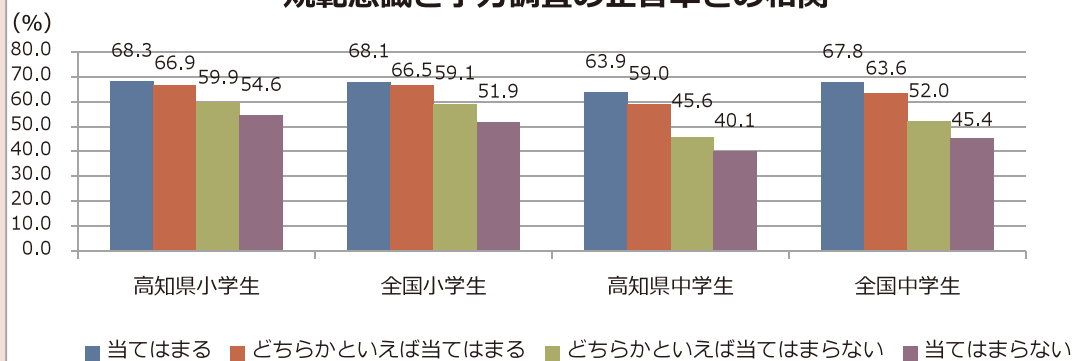
家庭のルールには、あいさつ、家に帰る時間、寝る時間、きちんとした姿勢などの生活上のルールもあれば、他人に迷惑をかけない、うそをつかないなどといった道德上のルールもあります。

しつけに一貫性をもたせ、しっかりと身につけさせるためにも、夫婦がよく相談してはっきりしたルールをつくり、子どもとともに親もそれを守りましょう。また、子どもの意見を聞いて一緒にルールをつくるという姿勢も大切です。

〔「家庭教育手帳」小学生(低学年～中学生)編<ワクワク子育て>P.40(文部科学省)より

資料2

規範意識と学力調査の正答率との相関



文部科学省：全国学力・学習状況調査（平成26年度）

ふりかえり

●子どもの規範意識を育てるために取り組んでみようと思ったことを書いてみましょう。

Ⅱ-3

参考資料（ファシリテーター用）

「ワーク3 まとめ」の場面で・・・

【家で約束やルールを作るとき】

- ・何のための約束やルールなのかを家族全員で共通理解する。
- ・大人が社会的・道徳的な判断から約束やルールを設けるときは、子どもが納得するよう理由等を説明する。
- ・子どもと一緒に約束やルールを考えてもよい内容については、実生活において守れるものとなるようにしっかり話し合って家族全員が納得して決める。（子どもの思いをしっかり受け止める。しかし、子どもの言いなりにはならない。親としては、折り合いの付け方がポイント。）

【約束やルールを大切に思い守っていけるように・・・】

- ・「なぜ、この約束やルールが必要なのか。無いとどのようなことが想定されるのか。」について、機会をとらえながら子どもとともに考え、話し合う機会を日常的かつ意図的に持ち、約束やルールを尊重する態度を養う。
- ・子どもが約束やルールを尊重する姿を見かけたら、その都度、ほめたり認めたりすることで、子どもが、そのよさを実感することができるようにする。
- ・保護者が約束やルールを守る手本を示す。
- ・もし、約束やルールを破ってしまったら・・・
 - ①子どもの気持ちを把握したうえで、保護者としての思いを毅然とした態度で伝える。
友達が関係する場合は、友達のせいにして逃げるのではなく、まずは、子どもが自身のことを振り返り、見つめ直すことができるようにする（保護者も同様）。場合によっては、学校や友達の家庭との連携も必要となるので、日頃からのつながりを大切に。
 - ②友達が関係する場合は、善悪を正しく判断し、断る勇気を持つことの大切さを伝えるだけでなく、そのスキルについても指導する。
 - ③怒りっぱなしで終わるのではなく、最終的には、子どもが明るい展望をもって生活できるような手立てやフォローも忘れずに。
 - ④もし、似たようなことを繰り返しても、子どもを信じて粘り強く指導を続ける（失敗を繰り返しながら子どもは成長していきます。気長に取り組みましょう。）。

- ・家庭内で弾力的に決めることができる約束やルールでなかなか守れないものについては、時には再度、家族会議をもって実行可能な内容にマイナーチェンジさせていくことも大切。しかし、変更が当たり前という感覚にならないよう、決めた以上は徹底させていく家族内の雰囲気づくりも必要。
- ・「子どもの規範意識を育てる基盤は家庭にあり」という意識のもと、家庭における風土づくりや人間（親子）関係づくりに留意する。
- ・一人で悩まず家族に相談。それでも難しいなら相談機関等へ。

ねらい	子どもの規範意識を育てるために、親として日常の関わりの中で大切にしたいポイントについて考える。		
実施のポイント (評価など)	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの規範意識を育てるために今まで行ってきた自分の関わり方を振り返ることができる。 ○子どもと約束やルールをつくる時に心がけるべきポイントや、それを尊重し順守させていくためのポイントについて考えることができる。 		
事前準備	<ul style="list-style-type: none"> ○会場設営（1グループ6名以内の机とイス） ○名簿によるグループ分け（短縮版のみ） ○資料 ○筆記用具 		
時 間	学習活動	学習活動のねらいとポイント	準備物
導 入 15分 (短縮版：10分)	ワークの趣旨説明 ○アイスブレイク ・グループ分け ・自己紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のねらいや約束事項を確認する。 ・ゲームを通して場を和らげるとともに1グループ6名以内のグループをつくる（短縮版はカットし、名簿によるグループ分けで対応する。）。 ・自己紹介では、「子育てをされていて最近おもしろかったこと」について話をするににし、たがいに親近感がもてるようにする。 	
展 開 15分	ワーク1 ・エピソードを読む。 (全体) ・ロールプレイをする。 (グループ) ・感想を話し合う。 (グループ)	<ul style="list-style-type: none"> ◎ロールプレイを通して、自分の関わり方を振り返るとともに、親として留意すべきポイントについて考えることをねらいとする。 ・親役2人と息子役1人の3人組でロールプレイを行い、グループ内で互いに見合えるようにする。その際、次の活動への布石として担当する役に関わらず息子の気持ちを踏まえようとして、自分なら親としてどのような関わり方をするかを考えながら活動するよう伝える。 ・感想を話し合う時は、「子どもとどのように向き合うべきか」をテーマに活動を振り返り、話す内容や態度等、親として留意すべきポイントを確認することができるようにする。 	
10分	ワーク2 ・エピソードと似たような経験について紹介し合う。(グループ)	<ul style="list-style-type: none"> ◎様々な事例にふれながら、規範意識を育てるための親としての関わり方について自分の考え方を再認識したり、新たな気持ちを得られたりすることをねらいとする。 ・子どものエピソードでも、参加者自身の子どもの頃のエピソードでもよいことを伝える。 ・必要に応じて質疑応答や感想を話し合う時間を設定する。 	
20分	ワーク3 ・ワークシートに書き込む。(個人) ・紹介し合う。(グループ) ・まとめをする。(全体)	<ul style="list-style-type: none"> ◎約束やルールを尊重し、順守することができる子どもを育てるための取組を紹介し合うことを通して、今後の自身の取組に向けた一助となることをねらいとする。 ・まとめの段階では、グループの代表に発表してもらい全体で情報交換することができるようにする。また、ファシリテーターは、最後に資料を参照にしてまとめをする。 	参考資料(P.69)
まとめ 10分 (短縮版:5分)	ふりかえり ・ワークシートに書き込む。(個人)	<ul style="list-style-type: none"> ・各家庭の実態を踏まえながら、子どもの規範意識の育成をめざした具体的な取組を考えることで実践しようとする意欲につなげる。 ・時間があれば資料2を参照し、その後、書き込むようにする。 ・書き込み後、時間があればグループ内で紹介し合う。ファシリテーターは、発表内容に関連したコメントをし、まとめとする。 	